

クロスカルチャーエンジニアリングプロジェクト (CEP)@KMUTT

実施期間	実施国	共同実施機関	対象	参加者	本学担当教員
2025年01月31日 ~2025年02月07日	タイ	キングモンクット 工科大学トンプリ校	システム理工学専攻、国際 理工学専攻、 地域環境システム専攻、 機械制御システム専攻、 電子情報システム学科、 機械制御システム学科、 環境システム学科、 生命科学科、 数理科学科 学部3~4年生、 修士1~2年生、 博士1~3年生	(芝浦工業大学) 学生17名、 学生バイト2名、 教員3名 (キングモンクット 工科大学トンプリ校) 学生34名、 学生バイト4名、 教員4名、 職員1名	長谷川 浩志 (機械制御システム学科)、 間野 一則 (電子情報システム学科)、 村上 嘉代子 (電気電子工学課程先端電 子工学コース)



1st place project team

大学院理工学研究科システム理工学専攻の国際 PBL 授業「クロスカルチャーエンジニアリングプロジェクト (Cross-culture Engineering Project; CEP)」は、タイ・バンコク、日本・大宮、ポルトガル・リスボンの 3 地域で実施している。それぞれのプロジェクトのメインターゲットは、グローバル、産学官連携、イノベーション創出である。CEP@KMUTT は、グローバルをターゲットにしたもので、本年度は、高齢者社会を大きな背景としてつぎの9つのプロジェクトを実施した。

- (1) The role of urban environment in aging society
- (2) In-demand jobs availability in aging society
- (3) Innovation for elderly users
- (4) Sustainable solution for low birth rate crisis
- (5) Tourism & healthy aging society
- (6) Smart healthcare preparation for elderly people
- (7) Product development towards aging society 1 (Doro sauce)
- (8) Product development towards aging society 2 (Doro sauce)
- (9) Application of artificial intelligence (AI) in aging society

この PBL は、問題発見からスタートして、システム工学のシステム思考に基づく課題設定、解決策導出、プロトタイプ作成を経て解決策を提案する。本年度は、プロダクトのプロトタイプを作成したチームが1位と2位を独占した。優秀チーム「Innovation for elderly users」であった。3D プログラムを制作して、旅に出かけることが難しくなった老人に対して旅に出た感覚を得てもらった。



Final Presentation



Group photo1



Project Work



Project Work2